

## 提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名： あきる野市観光推進プラン「あきる野ふるさとプラン」  
 募 集 期 間： 平成23年5月15日（日）から平成23年5月30日（月）まで  
 意見等提出件数： 16件（提出者5名）

あきる野市観光推進プラン「あきる野ふるさとプラン」（案）に対する意見募集（パブリックコメント）にご意見をいただき、ありがとうございました。

次のとおり、提出された意見の概要とそれに対する市の考え方をご紹介します。

| 項目                          | 意見の概要  | 市の考え方   |
|-----------------------------|--|---|
| 秋川ファーマーズセンターを「道の駅」にリニューアル   | <ul style="list-style-type: none"> <li>秋川ファーマーズは直売式の野菜等の販売をしていて、曜日を問わず大変賑わっている。これを「道の駅」に拡大し、市外からも来ていただける形にできればと思う。多摩地区では「八王子」に次いで2番目となりますが、西部の市町村ではまだ「道の駅」はありません。青梅市や日の出町に先んじられないよう、今しかないと思います。実現すれば圏央道からも利用客が来ていただけると考えます。また、近くに畑もあるので、親子が農業を体験できるコーナーも設けられたらと考える。</li> </ul>   | <p>○ 市では、平成19年度に道の駅基本構想検討委員会を設置し、地域の観光資源の活用、地域産業の活性化等が期待できる「道の駅」のあり方について検討してきました。その中で、秋川ファーマーズセンターも「道の駅」の候補地として挙げられましたが、財政負担が大き過ぎることから、道の駅構想を断念しました。このような経緯から、秋川ファーマーズセンターは「道の駅」と切り離し、農業振興の拠点施設として地産地消型の農業の展開を図ってまいります。また、体験農業や市民農園などの取組など、農業環境の活用と充実を図ってまいります。</p>   |
| 現存の秋川駅近辺にある入浴施設を拡大し、泊まれる設備に | <ul style="list-style-type: none"> <li>秋川駅北口にある入浴施設は、立地条件、規模ともに非常に中途半端な印象を受けます。誰をターゲットにしているかが見えない感じがします。せっかく圏央道の近くで、また駅に近いので、登山者や市外の人たち、また長距離輸送のトラックの運転手(この方たちは情報源をいっぱい持っています。)も視野に入れたらどうでしょうか。まず、長距離トラックでも駐車できるスペースの確保及び宿泊できる設備の拡大を望みます。日の出町にある入浴施設に対抗するにはこれしかありません。</li> </ul> | <p>○ 観光推進プランでは、重点地区の取組として小宮・戸倉地区、五日市地区、秋川地区の3つの地区を重点地区に指定し、それぞれの地域特性に合った観光の振興を考えております。秋川地区は、農業環境とスポーツ環境を活かした地域づくりを目指し、農業環境の活用、あきる野百景の活用、イベントによる観光活用、豊富なスポーツ施設を活用した、国体やプロスポーツなどの開催を観光活用、農商工連携を活用していきます。以上のような視点から観光振興を図ってまいります。秋川駅北口にある入浴施設については、市の施設ではないため、具体的な取組として観光推進プランには位置付けることはできませんが、ご意見として承ります。</p> |

|   |   |   |
|---|---|---|
| あきる野50か所<br>巡り  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の50か所にポイント(札)を設置し、市内に生息する小動物などの写真(携帯で対応できるバーコード式でもいいのですが)を設置。どこに何があるかは、その横にある文章(ヒントらしきもの)で探し出していきます。その50枚の中に2〜3枚ほど、すべて集めると何か特典があるというのはいかがでしょうか。親と子で週末楽しめるのでは。もちろん、市外の人でも可ですが。</li> </ul>     | <p>○ 市内の観光名所やあきる野百景に選ばれた名所を訪ねてもらいイベントとしては、効果があると思います。平成 23 年度にあきる野百景などの観光資源を活用したコースづくりに取り組みますので、市民はもちろんのこと、市外からも多くの人に市内の観光名所を訪れていただく手法として参考にさせていただきます。</p>  |
| 秋川付近にある<br>バーベキュー<br>の場所をオール<br>シーズン型の<br>バーベキュー<br>に | <ul style="list-style-type: none"> <li>バーベキューと言えば夏のイメージしかありません。その結果、秋川付近は夏に大変賑わうものの、その他の季節はさっぱり人がいないのが現状です。オールシーズン、川辺で遊べる形を作ればと思います。また、食材などはあらかじめ用意し、オールシーズン遊べて、泊まれて自然と戯れるそんなバーベキュー施設はいかがでしょうか。東京サマーランドと協同してもおもしろいかと思いますが。</li> </ul> | <p>○ 観光推進プランでは、今後3年間で取り組む施策として、滞在型観光の促進における MICE 等の検討をしております。MICE とは、企業の会議や従業員研修、学生や団体などの合宿などを行うことによって、滞在型観光を推進していくものであります。MICE を進めることにより、夏場の時期に限らず四季を通して誘客が期待できるものであります。公共のバーベキュー場につきましては、あきる野市観光協会を指定管理者に指定し維持管理を行っております。周辺の事業者や事業者などへの影響も考えられますので、食材の提供などの利用者へのサービスについては、観光協会や地元商店会などと相談させていただきます。</p> |
| 親と子の自然道<br>場  | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校又は中学校でもよいのですが、夏休みを利用し、その学校の体育館で寝泊りする、親と子の自然道場を実施。近隣農家に協力してもらい、自然を満喫しつつ親子がひとつの場所で寝泊りしながら、自然体験するというのはいかがでしょうか。</li> </ul>   | <p>○ 今後3年間で取り組む施策のひとつとして、山林、里山、川の自然探検、化石発掘、軍道紙の紙漉き、農業環境の活用など体験できるプログラムづくりを進め、自然体験を観光振興の目玉として考えております。</p>  |
| 積極的なテレビ<br>ドラマ撮影場所<br>のアプローチ                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、ドラマなどで撮影された場所を巡る人たちも増えています。積極的にテレビ業界に市としてアプローチし、撮影場所の誘致を行ってはどうでしょうか。</li> </ul>   | <p>○ 第4章の観光推進の施策の中で、誘客の視点で情報発信のひとつの手法として、歴史的資源、映画、音楽、芸術等の観光資源の更なる魅力を向上させるとともに、フィルムコミッションなどを活用し情報発信します。平成 23 年度は、映画「五日市物語」を最大限に活用して集客を図ってまいります。</p>  |
| 自然とコラボす<br>る舞台公演                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>芝居や能楽など、自然を活用した舞台を設営。せっかく自然があるわけですからそれを背景にして舞台設営などはいかがでしょうか。</li> </ul>  | <p>○ 第4章の観光推進の施策の中で、受入体制整備の視点で、地芝居やお囃子等を活用した観光客(外国人)の受入体制に取り組みますので、その中で対応します。</p>   |

|                                       |  |  |
|---------------------------------------|--|--|
| <p>(できたら)農学を選考する大学の(学部でもいいのです)が誘致</p> | <p>・ 廃校(市内にあるかどうかわかりませんが)を利用し、大学生を誘致できないでしょうか。やはり、若者がいないと町は活性化しないと思っているのですが。</p>   | <p>○ 平成24年4月に、小宮小学校が五日市小学校に統合されます。小宮小学校の活用については、今後全庁的に検討していきます。</p>  |
| <p>自転車利用を中心とした観光まちづくりを提案したい。</p>      | <p>・ 多くの観光地では、駅前の観光協会が無料あるいは保証金として、有料でGPS付電動アシストの自転車を貸してくれている。性能は良く、マウンテンバイクではかなりのところまで行くことができ、ファミリーで利用することができる。市内にたくさんの基地を作り乗り捨て自由にするなどのサービスがあれば、広範囲の移動が可能である。あきる野市の財産である豊かな自然と歴史を有機的に組み合わせ、自転車を駆って次のように設定されたコースを散策してもらおう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文化遺産めぐりコース</li> <li>2 花めぐりコース</li> <li>3 名産品買物コース</li> <li>4 自然遺産探訪コース</li> <li>5 巨木パワースポット探訪コース</li> <li>6 溪流釣り・溪谷水遊びコース、探鳥コース・・・</li> </ol> <p>など、魅力的なコースをそのメンバーの力量や興味に合わせてコース設定できる。五日市観光案内所に、自転車の乗り方アドバイスができるコンサルタントやボランティアガイドが必要になるほど賑わえばしめたもの。以上のように、自転車を使った観光まちづくりを提案したい。</p> | <p>○ 最近、週末になりますと、本格的なロードレース仕様から山道等を楽しむマウンテンタイプの愛好者まで、武蔵五日市駅周辺は多くのサイクリストで賑わいます。さらに、平成25年に開催される東京多摩国体において、あきる野市ではロードレース大会が行われます。八王子をスタートし、あきる野、檜原を通過、奥多摩がゴールとなります。こうした絶好の機会を契機に、平成23年度は、サイクル・ツーリズムによる広域的な観光推進のための調査事業に取り組みます。この調査事業の中で、多様なコース設定、自転車の活用形態及び滞在型観光への活用などの検討を行ってまいります。</p> |

|                                  |  |  |
|----------------------------------|--|--|
| <p>あきる野市の優<br/>位な立地を生か<br/>す</p> | <p>・ 宿泊をしてでも、参加してみたく<br/>なるような企画を提案します。</p> <p><b>川に親しむツアー</b></p> <p>①カヌー教室の開催<br/>②手作り筏で遊ぶ<br/>③沢登りレッスン<br/>④川釣りレッスン</p> <p><b>実践手作りツアー</b></p> <p>①ログハウス、実践コース<br/>②ツリーハウス、実践コース<br/>③家庭菜園の定期的な講習会<br/>④陶芸(ありきたりの作陶だけでな<br/>く、窯炊も体験できる本格的なも<br/>の)</p>                                  | <p>○ 前出しのとおり、今後3年間で取り組む施策のひとつとし<br/>て、山林、里山、川の自然探検、化石発掘、軍道紙の紙漉<br/>きなど体験できるプログラムづくりを進め、自然体験を観光<br/>振興の目玉として考えております。具体的なプログラム作り<br/>の参考とさせていただきます。</p>  |
| <p>魅力ある景観作<br/>りと集客力を</p>        | <p>・ 武蔵五日市駅前(周辺)に飲食が<br/>できるお店や、地元農産物等の物<br/>産販売所を整備し、白壁が主体の<br/>モダンな日本風の建物にすれ<br/>ば、駅を降りた瞬間、身近な<br/>東京にも美しい観光地があるとい<br/>うことが印象づけられる。</p> <p>・ 檜原街道沿いの街路樹を、木陰を<br/>作り出すケヤキにしたらどうか。夏<br/>の間、きれいな花を咲かせる百日<br/>紅もよいが、夏場の炎天下を歩く<br/>観光客にとって、木陰はオアシス<br/>である。また、ケヤキの植林に伴<br/>い電柱の地中化を提案したい。</p> | <p>○ 武蔵五日市駅前(周辺)の整備については街づくりの視<br/>点もあり、観光推進プランでは具体的には示していません<br/>が、全庁的に取り組んでいく必要があります。ご意見として<br/>承ります。</p> <p>○ 檜原街道沿いの街路樹である百日紅は、夏の観光客に<br/>喜んでいただくため、夏に花が咲く樹木をということで、当<br/>時の五日市町が東京都に対して要望し決まったということ<br/>であります。確かに、ケヤキであれば歩道に木陰ができ、夏<br/>の炎天下の日でも木陰のオアシスを感じながら歩くことは可<br/>能であります。こうした経緯がありますのでご理解をいた<br/>だきたいと思えます。また、電柱の地中化につきましては、<br/>地中化することにより五日市商店街から小中野までの檜原<br/>街道沿いの風景も一変すると思えますが、多額な費用がか<br/>かることから道路管理者である東京都との調整も必要になり<br/>ますので、ご意見として承ります。</p> |
| <p>アートの活用<br/>を</p>              | <p>・ 市内には、多くの芸術家の方が<br/>活躍されています。「アート」を観<br/>光の振興に活用したらいかかが。</p>   | <p>○ アートも、観光の振興の素材には十分なりうるものと認識<br/>しております。あきる野市は、他市に誇れる多様な観光資源<br/>を有していますので、観光振興の具体的な手法としてアートの<br/>活用も考えていきます。</p>   |
| <p>魅力的な観光マ<br/>ップ(HP)</p>        | <p>・ 市内の観光名所を、都内の友人<br/>に案内しようとしてインターネット<br/>で検索したが、入手したい情報が<br/>まとまったサイトが見当たらず、個<br/>人で運営しているサイトで陶芸や<br/>レストランの情報を集め案内した。<br/>口コミ等で人気のあるお店や、観<br/>光客が必要としている情報を載せ<br/>るべきであると思うが。</p>   | <p>○ 市のホームページの観光情報で、各個人店の情報を紹介<br/>することはできません。観光協会のホームページであれば掲載<br/>が可能でありますので、意見として承り、今後観光協会<br/>と協議していきます。</p>   |

|                     |  |   |
|---------------------|--|---|
| <p>女性を意識したプラン</p>   | <p>・ 都心から最も近いアウトドアエリア、圏央道もでき車の移動が便利になったことから、日帰りで行ける距離の緑と、癒しとおいしいランチができる場所ということで、アクティブな女性も呼べるはず。もっと女性を意識したプランがあってもよいと思う。奥様たちの口コミで、ファミリーの集客にもつながります。</p> | <p>○ 国内観光の動向として、ハイキング客の大半をシニア世代が占めております。シニア層は時間的、経済的に余裕があることから、市内各地域を変化に富んだ多様な散策コースを設定するなど、歩く楽しみの選択肢を拡大するとともに、観光消費を促すターゲットとして、今後のさらに主要な顧客となっていくと考えられます。観光推進プランでは、重点ターゲットとする客層を、リピーター化が見込めるファミリー層としていますが、上述のとおり、これまでと同様シニア世代、特に女性についてもターゲットとして考えております。</p> |
| <p>遊歩道の整備とドッグラン</p> | <p>・ 秋川地区には、左岸沿いに引田から東秋川橋までの間、かなり長い距離遊歩道があり、ウォーキングや犬の散歩にぴったりです。この遊歩道は残念なことに整備されてなく、草も繁茂していて看板も見えない状況であるため、環境整備が必要である。また、ドッグランの整備を。</p>                 | <p>○ 観光推進プランでは、観光ルートの具体的な整備の内容については示しておりません。秋川における遊歩道等の整備については、秋川を管理している東京都と連携をしながら進めていきたいと考えています。最近、ペット連れの旅行者も多く見かけますが、ドッグランの整備については現状ではむずかしく、ご意見として承ります。</p>  |
| <p>瀬音の湯のお食事処</p>    | <p>・ 瀬音の湯雰囲気は素敵です。宿泊施設もあるし、足湯からの景色は最高です。その景色を活かして、別棟でガラス張りのレストランでもあれば、集客できるはず。</p>   | <p>○ 観光推進プランでは、個々の施設の改修計画等は示しておりません。現時点では、瀬音の湯の改修工事の計画はありませんので、ご意見として承ります。</p>  |